



新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和5年3月9日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和5年4月5日（水）からオーダー開始しました。

コントミン糖衣錠の供給状況に伴うお願い

精神神経安定剤「コントミン糖衣錠12.5 mg、25 mg、50 mg」につきまして、品質試験が出荷基準を満たさないロットが確認されたため、原因究明を目的に製造が一時停止され、在庫消尽後、当面の間出荷停止となります。

薬剤変更は症状の再燃・増悪のリスクを伴う可能性があります。必要な患者に優先的に使用できるよう、可能な場合は他剤への変更についてご検討よろしくお願ひします。

ロイコボリン注3 mg の出荷停止について

抗葉酸代謝拮抗剤「ロイコボリン注3 mg」につきまして、本製品を製造している海外委託製造所の閉鎖を受け、在庫消尽をもって出荷停止となります。今後、製造所を移管し、製造再開が予定されていますが、本邦への出荷は2024年後半となる見込みです。

出荷停止中の代替治療について、関連学会（日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会）より、ロイコボリン注3 mgの供給不安期間中のレボホリナート点滴静注用（以下、レボホリナート静注用）を代替として用いることについて見解が発出されておりますので、薬剤部でも運用を含め、現在検討中です。

『カリジノゲナーゼ錠 50 単位「サワイ」』オーダー一時停止のお知らせ

循環障害改善剤『カリジノゲナーゼ錠50単位「サワイ」』につきまして、規格に適合した製品の確保ができないことから安定供給に支障をきたし、出荷が一時停止となりました。その為、当院在庫が欠品となったことから、3月11日より処方オーダーを一時停止しました。

なお、当該薬剤の代替薬として、3月11日より「カルナクリン錠50」がオーダー開始となりました。

『クラリスロマイシン錠 50 mg 小児用「マイラン」』オーダー停止のお知らせ

マクロライド系抗生物質製剤『クラリスロマイシン錠50mg小児用「マイラン」』につきまして、諸般の事情により販売中止になったことから、当院在庫も欠品となったため、3月16日より処方オーダーを停止しました。

なお、本剤の代替薬として『クラリスロマイシン錠小児用50mg「タカタ」』の処方オーダーを3月16日から開始しました。

『トアラセット配合錠「マルイシ」』オーダー停止のお知らせ

慢性疼痛・抜歯後疼痛治療剤『トアラセット配合錠「マルイシ」』につきまして、委託先製造所からの入荷遅延が発生、並びに同種同効薬の限定出荷の影響により需要が急増し限定出荷となっていました。入荷遅延が改善せず在庫が消尽したため供給が一時停止となりました。そのため当院在庫も欠品となったことから、3月24日より処方オーダーを停止しました。

なお、本剤の代替薬として『トアラセット配合錠「杏林」』の処方オーダーを3月24日から開始しました。

『クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「久光」』 オーダー停止のお知らせ

外用合成副腎皮質ホルモン剤『クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「久光」』につきまして、諸般の事情により販売中止になり、経過措置期間が3月31日で終了したことから、4月1日より処方オーダーを停止しました。

なお、本剤の代替薬として『クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「イワキ」』の処方オーダーを4月1日から開始しました。

『カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム錠 10 mg「日医工」』オーダー一時停止 のお知らせ

血管強化薬・止血剤『カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム錠10 mg「日医工」』につきまして、製造委託先からの入荷が滞っており販売企業の保有在庫も僅少となったため、在庫消尽次第、出荷停止となります。

本件を受け、当院においては購入できる限り処方オーダーを継続していますが、他規格製剤を含め安定供給可能品が見つからず、院内在庫が1カ月程度で欠品する見込みとなり、なくなり次第、処方オーダーを一時停止せざるを得ない状況です。

本製品において、同作用薬の内服製剤は無く、注射での投与が必要な場合の代替薬は以下の薬剤となっております。

【当院採用の代替注射薬】

- ・アドナ注25 mg、50 mg

『シスプラチン注 10 mg、50 mg「日医工」』オーダー停止のお知らせ

抗悪性腫瘍薬『シスプラチン注 10 mg、50 mg「日医工」』につきまして、諸般の事情により販売中止になったことから、当院在庫も欠品となるため、4月12日までのレジメンオーダー入力分をもって使用を終了しました。

なお、本剤の代替薬として『シスプラチン点滴静注 10 mg、50 mg「マルコ」』を、4月13日のレジメンオーダー入力分から使用開始しました。

また、本剤はレジメンオーダー上『シスプラチン点滴「規格なし」』で登録されていますので、本件によるレジメンオーダー時の画面表示・操作の変更はございません。

『ユルトミリス HI 点滴静注 300 mg/3 mL』自主回収のお知らせ

抗補体 (C5) モノクローナル抗体製剤「ユルトミリスHI点滴静注300 mg/3 mL」につきまして、海外製造所での安定性を確認するために定期的実施しているモニタリング試験において、規格値を超える試験結果が確認されたことから、当該ロット製品を自主回収することとなりました。

なお、自主回収対象ロット製品の当院への納入はありませんでした。
現在までに本件に起因すると考えられる有効性の欠如及び健康被害の報告はありません。

禁忌等追加のお知らせ

※追加部抜粋

◎アドシルカ錠 20 mg(一般名:タダラフィル)＜肺動脈性肺高血圧症治療剤(ホスホジエステラーゼ5阻害剤)＞

【禁忌】 エンシトレルビルを投与中の患者

◎パルタン M 錠 0.125 mg(一般名:メチルエルゴメリンマレイン酸塩)＜子宮収縮止血剤＞

【禁忌】 HIV プロテアーゼ阻害剤 (リトナビル含有製剤、ダルナビル エタノール付加物含有製剤)、エンシトレルビル フマル酸を投与中の患者

◎セルシンシロップ 0.1 % (一般名:ジアゼパム)＜抗不安剤＞

◎ダイアップ坐剤 4、6、10(一般名:ジアゼパム)＜小児用抗けいれん剤＞

◎ホリゾン注射液 10 mg(一般名:ジアゼパム)＜抗不安剤＞

◎ミダゾラム注 10 mg「サンド」(一般名:ミダゾラム)＜催眠鎮静剤＞

【禁忌】 ニルマトレルビル・リトナビルを投与中の患者

◎パキシル CR 錠 12.5 mg、25 mg、6.25 mg(一般名:パロキセチン塩酸塩水和物)＜選択的セロトニン再取り込み阻害剤＞

※6.25 mg は院外専用医薬品

◎パロキセチン 10 mg「SPKK」(一般名:パロキセチン塩酸塩水和物)＜選択的セロトニン再取り込み阻害剤＞

【併用禁忌】 ラサギリンメシル酸塩、サフィナミドメシル酸塩

禁忌削除のお知らせ

※削除部抜粋

◎ミダゾラム注 10 mg「サンド」(一般名:ミダゾラム)＜催眠鎮静剤＞

【禁忌】 インジナビル、オムスタスビル・パリタプレビル・リトナビルを投与中の患者

※販売中止のため

効能・効果、用法・用量追加等のお知らせ

※追加・改訂部抜粋

◎リンヴォック錠7.5 mg(一般名:ウパダシチニブ)＜ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤＞

【効能・効果】X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎

【用法・用量】通常、成人にはウパダシチニブとして15 mgを1日1回経口投与する。

◎ペマジール錠4.5 mg(一般名:ペミガチニブ)＜抗悪性腫瘍剤(FGFR阻害剤)＞ ※臨時採用医薬品

【効能・効果】*FGFR1*融合遺伝子陽性の骨髄性又はリンパ性腫瘍

【用法・用量】通常、成人には、ペミガチニブとして1日1回13.5 mgを経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

◎オプジーボ点滴静注20 mg、240 mg(一般名:ニボルマブ)＜抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体)＞

【効能・効果】非小細胞肺癌における術前補助療法

【用法・用量】他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回360 mgを3週間間隔で点滴静注する。ただし、投与回数は3回までとする。

◎エンハーツ点滴静注用100 mg(一般名:トラスツズマブ デルクステカン(遺伝子組換え))

＜抗HER2抗体 トポイソメラーゼ I 阻害剤複合体＞

【効能・効果】化学療法歴のあるHER2低発現の手術不能または再発乳癌

【用法・用量】通常、成人にはトラスツズマブ デルクステカン(遺伝子組換え)として1回5.4 mg/kg(体重)を90分かけて3週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。

◎パリキサドライシロップ5000 mg(一般名:バルガンシクロビル塩酸塩)＜抗サイトメガロウイルス化学療法剤＞

※臨時採用医薬品

【効能・効果】症候性先天性サイトメガロウイルス感染症

【用法・用量】通常、新生児及び乳児にはバルガンシクロビルとして1回16 mg/kgを1日2回、経口投与する。

販売中止のお知らせ

◎ジクロフェナク Na 徐放カプセル 37.5 mg「トーフ」(一般名:ジクロフェナクナトリウム)＜解熱鎮痛剤＞

◎ブシラミン錠 100 mg「トーフ」(一般名:ブシラミン)＜抗リウマチ剤＞

◎ポトレンド配合錠(一般名:クエン酸カリウム, クエン酸ナトリウム水和物)＜アルカリ化療法剤＞

経過措置期間満了日:2024年3月31日(予定)

◎トランコロン錠 7.5 mg(一般名:メペンゾラート臭化物)＜過敏大腸症治療剤＞

販売中止予定時期:2023年10月頃

経過措置期間満了日:2024年3月31日(予定)

限定出荷等解除のお知らせ

◎ピンダケルカプセル 20 mg(一般名:タファミジスメゲルミン)＜TTR型アミロイドーシス治療薬＞

2023年3月16日より限定出荷解除

◎ドボネックス軟膏 50 µg/g(一般名:カルシポトリオール)＜尋常性乾癬治療剤＞※臨時採用医薬品

2023年3月22日より限定出荷解除

◎ゾフルーザ錠 10 mg(一般名:パロキサビル マルボキシル)＜抗インフルエンザウイルス剤＞

2023年3月上旬より限定出荷解除

◎ゴナールエフ皮下注ペン 900(一般名:ホリトロピン アルファ(遺伝子組換え))

＜遺伝子組換えヒト卵胞刺激ホルモン製剤＞

2023年3月13日より限定出荷解除

◎フルオレサイト静注 500 mg(一般名:フルオレセイン)＜蛍光眼底造影剤＞

2023年4月18日より限定出荷解除

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

- ◎カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム錠 10 mg「日医工」(一般名:カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム)
出荷量: D. 出荷停止
＜血管強化・止血剤＞

- ◎ペリアクチン散 1%(一般名:シプロヘプタジン塩酸塩水和物)＜抗アレルギー剤＞
出荷量: D. 出荷停止

- * ◎マキュエイド眼注用 40 mg(一般名:トリアムシノロンアセトニド)＜眼科手術補助剤, 眼科用副腎皮質ホルモン剤＞
出荷量: B. 出荷量減少 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)
在庫消尽後は 出荷量: C. 出荷停止

- ◎トリプタノール錠 10, 25(一般名:アミトリプチリン)＜三環系抗うつ剤＞
出荷量: C. 出荷量支障 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

- ◎アラバ錠 20 mg(一般名:レフルノミド)＜抗リウマチ剤＞※臨時採用医薬品
出荷量: B. 出荷量減少 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

- * ◎メスチノン錠 60 mg(一般名:ピリドステグミン臭化物)＜重症筋無力症治療剤＞
出荷量: B. 出荷量減少 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

- ◎エプトール 250 mg 錠(一般名:エタンプトール塩酸塩)＜抗結核薬＞
- ◎エブランテルカプセル(一般名:ウラピジル)＜排尿障害改善剤、降圧剤＞
- ◎プロスタグランジン E2 錠 0.5 mg(一般名:ジノプロストン)＜陣痛誘発・促進剤＞
出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

- ◎キシロカイン注射液「1%」エピレナミン(1:100,000)含有(一般名:リドカイン・アドレナリン)＜局所麻酔剤＞
出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

- ◎エルネオパ NF1号 1000 mL、1500 mL・同2号 1000 mL、1500 mL
＜高カロリー輸液用アミノ酸・糖・電解質・総合ビタミン・微量元素液＞
出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

- ◎アラミスト点鼻液 27.5 µg 56 噴霧用(一般名:フルチカゾンフランカルボン酸エステル)
＜定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤＞
出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

- * ◎献血グロベニン- I 静注用 5000 mg(一般名:ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン G)
＜血漿分画製剤(静注用人免疫グロブリン製剤)＞
出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ④限定出荷(その他)

- ◎イトラコナゾール内用液 1%「VTRS」(一般名:イトラコナゾール)＜経口抗真菌剤＞
出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ④限定出荷(その他)

【参考情報】日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』
DI-EXPRESS (2022.7) の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

* : 日薬連発第 137 号 『「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義」の見直しについて』の定義に基づく

経過措置満了に伴うオーダ変更のお知らせ

変更前		変更後	旧販売名製品の経過措置満了日
エパルレスタット錠 50 mg 「ファイザー」	→	エパルレスタット錠 50 mg 「VTRS」	2023年3月31日
アテノロール錠 25 mg 「ファイザー」	→	アテノロール錠 25 mg 「日新」	2023年3月31日
ミコナゾール塩酸塩クリーム 1% 「YD」	→	フロリードDクリーム 1%	2023年3月31日

適正使用のお願い

◎エンハーツ点滴静注用 100mg(一般名:トラスツズマブ デルクステカン(遺伝子組換え))

＜抗 HER2 抗体 トポイソメラーゼ I 阻害剤複合体＞

本剤の投与により重篤な間質性肺疾患(以下、「ILD」)が発現していることから、特にILDに対しては慎重な対応が必要と考えます。本剤の使用をされる際には、特に下記の事項に十分にご留意ください。

「エンハーツ点滴静注用」投与時の留意事項

- 本剤の投与によりILDがあらわれ、死亡に至った症例が報告されているので、呼吸器疾患に精通した医師と連携して使用してください。本剤投与開始前および投与中は、臨床症状(呼吸困難、咳嗽、発熱等)の確認、定期的な動脈血酸素飽和度(SpO₂)検査、胸部X線検査及び胸部CT検査の実施等、観察を十分に行ってください。異常が認められた場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行ってください。
- 本剤の投与にあたっては、本剤の最新の電子添文、及び本剤の適正使用ガイドを熟読し、内容をご理解ください。
- 本剤は緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与してください。
- COVID-19と薬剤性ILDにより認められる胸部画像の異常所見及び症状に類似点がみられます。本剤を適正に使用するためにはより一層慎重な対応が必要となるため、設定された追加の施設要件をご確認ください。
- ILDを認めた場合は、速やかに販売企業の医薬情報担当者までご連絡ください。

院内副作用報告

院内において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
エダラボン点滴静注液 30 mg バッグ「明治」	急性腎不全

本剤は主として腎臓から排泄されるため、腎排泄型の抗生物質との併用により腎機能障害のリスクが高まります。併用する場合には投与継続の可否を慎重に検討し、投与を継続する場合には特に頻回に腎機能検査を実施するようご注意ください。

薬の重複投与・相互作用に注意してください

持参された内服薬を継続および再開する場合には、院内処方との薬効の重複や相互作用にご注意ください。

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 399

★レナリドミド製剤の後発品における安全管理方策について

レナリドミド製剤の後発品は、本年2月15日に承認され、今後、薬価収載を経て上市される見込である。レナリドミド製剤の後発品上市後の安全管理に向けたRevMateの改訂が行われ、本年6月より施行される予定となっているため、その安全管理方策の概要を紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介します。

◎GLP-1受容体作動薬含有製剤及びチルゼパチド(①ピクトーザ皮下注18 mg、②バイエッタ皮下注5 µg、10 µg(ペン300)、③リクスマア皮下注300 µg、④トルリシティ皮下注0.75 mgアテオス、⑤オゼンピック皮下注2 mg、リベルサス錠3 mg、7 mg、14 mg、⑥ゾルトファイ配合注フレックスタッチ、⑦ソリクア配合注ソロスター、⑧マンジャロ皮下注アテオス2.5 mg、5 mg、7.5 mg、10 mg、12.5 mg、15 mg) <その他のホルモン剤、糖尿病用剤> ※②、③、リベルサス錠14 mgは院外採用医薬品、⑧は当院非採用医薬品

【副作用】 胆嚢炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸

- ※①当該症例 8例（うち死亡0例）
- ②当該症例 1例（うち死亡0例）
- ③当該症例 1例（うち死亡0例）
- ④当該症例 6例（うち死亡0例）
- ⑥ 当該症例 1例（うち死亡0例）
- ⑥～⑧ 当該症例 0例

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例で因果関係が否定できないもの。

◎タゾバクタム・ピペラシリン水和物(商品名:ゾシン静注用4.5) <β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤>

【副作用】 血球貪食性リンパ組織球症（血球貪食症候群）

【重大な副作用】 発熱、発疹、神経症状、脾腫、リンパ節腫脹、血球減少、LDH上昇、高フェリチン血症、高トリグリセリド血症、肝機能障害、血液凝固障害等の異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※当該症例 5例（うち死亡0例）

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例で因果関係が否定できないもの。

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<https://www.mhlw.go.jp/>）から確認可能。

☆Drug Safety Update No.316 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
硫酸ストレptomycin（硫酸ストレptomycin注射用「明治」） ※臨時採用医薬品	※重要な基本的注意：追記 〈肺結核及びその他の結核症〉 本剤を含む抗結核薬による治療で、薬剤逆説反応を認めることがある。治療開始後に、既存の結核の悪化又は結核症状の新規発現を認めた場合は、薬剤感受性試験等に基づき投与継続の可否を判断すること。
リファンピシ（リファンピシカプセル「サント」）	
イソニアジド（イスコチン錠）	
エタンブトール塩酸塩（エブトール錠）	
エチオナミド（ツベルミン錠） ※臨時採用医薬品	
ビラジナミド（ビラマイド原末）	
レボフロキサシ（レボフロキサシ錠「DSEP」）	

<別紙1>新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計10品目)

2023年4月5日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	アゾビ皮下注オートインジェクター 119	皮下注	225mg	-	41167.0	大塚製薬	Fremanezumab 片頭痛治療剤(ヒト化抗CGRPモノクローナル抗体製剤) ★片頭痛発作の発症抑制に適応 ★常備医薬品のシリンジ製剤から切り替え ★本剤はシリンジ製剤に比べ安全かつ簡便に使える製剤である ★オートインジェクター製剤は2022年11月より在宅自己注射が可能(シリンジ製剤は在宅自己注射不可) 【発売:2022/11/21】
1	ウイファート点滴静注 639	注	400mg	劇	421455.0	アルジェニクスジャパン	Efgartigimod Alfa(Genetical Recombination) 全身型重症筋無力症治療剤(抗FcRn抗体フラグメント製剤) ★全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限り)に適応 ★重症筋無力症の病因であるIgG自己抗体を含む血中IgG濃度を減少させることを意図した新規作用機序製剤であり、AChR抗体の陽性・陰性によらず、安定した有効性と忍容性を発揮することが第3相試験結果から確認されている ★外来で治療が可能であることから、患者の負担を軽減することが期待できる ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2022/05/09】
1	オスタロ皮下注カートリッジ 243	皮下注	1.5mg	-	16128.0	帝人ファーマ	Abaloparatide Acetate 骨粗鬆症治療剤(hPTHrPアナログ製剤) ★骨折の危険性の高い骨粗鬆症患者に用いられる骨形成促進効果のある薬剤 ★骨粗鬆症の治療は骨形成促進薬を先に使い、骨吸収抑制薬で逐次療法を行う方法が推奨されており、重症骨粗鬆症患者に対して、禁忌でない限り骨形成促進剤を第一に使用することが推奨される ★従来の骨形成促進剤であるテリパラチド製剤(テリパラチドBS、テリボン)と比べて有意に大腿骨近位部での骨密度増加効果が高いことが海外第Ⅲ相試験(ACTIVE試験)で示されており、米国のガイドラインでは、重症骨粗鬆症患者に対する第一選択薬の一つとして挙げられている ★本薬剤は従来のテリパラチド製剤と比べて、テリパラチドBS(21577円/4週)より高価であるが、テリボンオートインジェクター(47960円/4週)より安価である(32256円/4週) ★投与日数合計は18カ月まで ★在宅自己注射可能 【発売:2023/01/30】
1	ジーラスタ皮下注ポディューホット 339	皮下注	3.6mg	-	114185.0	協和キリン	Pegfilgrastim(Genetical Recombination) 持続型G-CSF製剤 ★がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制に適応 ★従来のジーラスタは化学療法後、24時間を空けて投薬する必要があったため患者に対しては翌日以降の再来院を依頼する形となっていた ★本デバイス化学療法実施後に装着することで27時間後、自動的に投薬が開始されるため、再来院の必要がなくなり、患者及び付添人の負担を軽減することができる ※同成分薬:ジーラスタ皮下3.6mgが常備医薬品として採用あり 【発売:2022/12/06】
1	ジャカヒ錠 429	錠	5mg	劇 ハイリスク	3768.9	ノバルティスファーマ	Ruxolitinib Phosphate 骨髄線維症・真性多血症治療剤(JAK阻害剤) ★JAK1及びJAK2のリン酸化を阻害する経口チロシキナーゼ阻害剤 ★骨髄線維症に対しては全身症状や脾腫の軽減および生存率の改善が報告されている ★真性多血症に対しては他の治療に治療抵抗性であっても赤血球の抑制効果が報告されている ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2014/09/02】
1	ドライ 341	透析剤	2.75S	-	1425.0	日機装	人工腎臓透析用剤 ★慢性腎不全等に対して血液浄化療法を実施するにあたり、水分、尿毒症物質の除去と電解質の補正を担う透析液として使用される ★血液浄化療法センターの移転に伴い、透析液作成装置の新規購入となったが、新規装置はメーカー指定の透析液ボトルのみ使用可能となっており、現在採用されている透析液は非対応の物となっているため、現行品と同等性能である本剤への切り替えが必要である 【発売:2017/6/1】
1	ナゾラ皮下注30mgシリンジ 399	皮下注	30mg	劇	112476.0	大正製薬	Ozoralizumab(Genetical Recombination) 関節リウマチ治療剤(TNF α 阻害薬) ★一本鎖ヒト化抗TNF α モノクローナル抗体製剤 ★MTX効果不十分例、高疾患活動性関節リウマチ症例に対する疾患活動性のコントロールを目的とする ★関節リウマチの治療は現在、早期の治療介入と速やかな寛解導入による骨関節破壊の予防がスタンダードとなっている ★ナゾラシリンジは投与後速やかな治療反応性が報告されており、高齢者のADLの低下を来す前に疾患活動性のコントロールができる可能性がある 【発売:2022/12/01】

1	ベネクレクスタ錠10mg 429	錠	10mg	劇 ハイリスク	872.8	アッウイ合同会社	Venetoclax 抗悪性腫瘍剤(BCL-2阻害剤) ★急性骨髄性白血病、再発難治性慢性リンパ性白血病に適応 ★特に急性骨髄性白血病において、年齢や合併症により従来の強力な多剤併用化学療法の実施が困難な症例において、アザチンや少量のシタレピンと併用することで高い治療効果を発揮することが明らかとなっており、急性骨髄性白血病に対する新しい治療選択肢として使用頻度が増加しており、今後も使用量が増えることが見込まれる ※他規格50mgが常備医薬品、100mgが臨時採用医薬品 ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2019/11/22】
1	ポライテール点滴静注用 30mg 429	注	30mg	劇 ハイリスク	298825.0	中外製薬	Polatuzumab Vedotin (Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(微小管阻害薬結合抗CD79bモノクローナル抗体) ★びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に適応 ★びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)は最も頻度が多い悪性リンパ腫であり、これまでDLBCLに対する標準的治療はR-CHOP療法だったが、オンコピンをポライテールと置き換えたPol-R-CHP療法が無増悪生存期間を有意に改善することが明らかとなり、R-CHOP療法に代わって標準的治療となりつつある ★再発難治性のDLBCLに対するポライテール併用BR療法も有効な治療であり、今後DLBCLに対する治療薬としてポライテールの使用頻度は増加する見込み ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2021/05/19】
1	ユリス錠1mg 394	錠	1mg	-	53.3	持田製薬	Dotinurad 選択的尿酸再吸収阻害薬 ★痛風、高尿酸血症に適応 ★尿酸再吸収に関わるURAT1阻害作用が強く、かつ排泄に関わるABCG2、OTA1及びOTA3に対する阻害作用が弱いことから効率的に尿酸排泄を促し、血中尿酸値を低下させる ★肝障害の原因と考えられるトコソドリア毒性やCYP2C9阻害による薬物相互作用の少ない尿酸降下薬として開発されており、劇症肝炎の警告等がない ★1日1回服用 ★日本人に多いとされる排泄低下型の病型にあった作用機序 ※院外専用から常備へ 【発売:2020/05/25】

⑥臨時採用医薬品(合計5品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	コセルゴ 429	cap	25mg	劇 ハイリスク	30,257.8	アレクシオンファーマ 合同会社	Selumetinib Sulfate 神経線維腫症Ⅰ型治療剤(MEK阻害剤) ★疼痛や外観上の変形等の臨床症状を有し、重大な合併症のリスクを伴うことなく切除できない3歳以上18歳以下の「神経線維腫症Ⅰ型における叢状神経線維腫」に対して本邦で初めて承認された治療薬である ★神経線維腫症Ⅰ型では細胞増殖を適切に調節する蛋白であるニューロフィブロミンの機能低下があり、MEKが常に活性化されているが、コセルゴはMEKの働きを抑制することで細胞が過剰に増殖するのを抑制し、叢状神経線維腫を縮小させる効果が得られる 【発売:2022/11/16】
6	スキリージ点滴静注 399	注	600mg	劇	192,321.0	アッウイ合同会社	Risankizumab(Genetical Recombination) ヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤 ★中等症から重症の活動期クローン病において点滴静注は緩解導入療法に、皮下注オートーサーは維持療法に適応 ★スキリージはヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤であり、これまでの薬剤とは違う作用機序であることと、オートーサーによる維持療法中にも、効果不十分な際には、点滴静注600mgによる再寛解導入療法が実施できるため、これまで炎症のコントロールが不十分であった症例に対して治療効果が望める ※同成分薬:スキリージ皮下注75mg/リンジは常備医薬品であるが、適応は乾癬のみ スキリージ点滴静注:【発売:2023/01/13】 スキリージ皮下注オートーサー:【発売:2023/02/13】
6	スキリージ皮下注オートーサー 399	皮下注	360mg		508,169.0		
6	ソーテイクツ 399	錠	6mg	劇	2,770.9	プリストル・マイヤース スクイブ	Deucravacitinib 乾癬治療薬(TYK2阻害剤) ★世界初の経口チロシンキナーゼ2(TYK2)阻害剤で、既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症に対する効能又は効果を有する ※緊急使用医薬品として使用歴あり 【発売:2022/11/16】
6	タキサノ皮下注シリンジ 449	皮下注	300mg	-	1,288,729.0	武田薬品工業	Lanadelumab(Genetical Recombination) 遺伝性血管性浮腫発作抑制用 血漿カクレイン阻害剤(完全ヒト型抗ヒト血漿カクレインモノクローナル抗体) ★活性化された血漿カクレインに対する阻害薬であり、遺伝性血管性浮腫(HAE)の急性発作の原因となるブラジキニンの過剰な放出を抑制する ★海外第Ⅲ相臨床試験において、本剤300mg 2週に1回投与群は、4週間あたりのHAE発作発現回数を86.92%低下させた ★プレフィルドシリンジ製剤 【発売:2022/5/30】

⑦院外専用医薬品(合計6品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
------	-----	----	----	----	----	-----	-------

7	フルツロン 422	cap	200mg	劇 ハイリスク	197.5	太陽ファルマ	Doxifluridine 抗悪性腫瘍剤 ★ジラスタ皮下注3.6mgホテイホット採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:1987/09/03】
7	メジエト皮下注シリンジ 399	皮下注	7.5mg	劇 ハイリスク	1,797.0	エーザイ	Methotrexate 抗リウマチ剤 ★関節リウマチを効能又は効果とした国内初の週1回皮下投与メトトレキサート(MTX)製剤 ★在宅自己注射可能 ★関節リウマチ症例でMTX内服困難例に対して使用 ★本剤はMTXの内服と比較して有意に消化器症状が少ないと報告されている 【発売:2022/11/16】
7			10mg		2,189.0		
7			12.5mg		2,551.0		
7			15mg		2,890.0		
7	レキップCR 116	錠	2mg	劇	169.2	グラクソ・スミスクリン	Ropinirole Hydrochloride 徐放性ドパミンD2受容体系作動薬 ★ウィガート点滴静注400mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2012/08/28】

⑩放射性医薬品(合計5品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
10	FDGスキャン 430	注	111MBq	-	-	日本メジファインクス	Fludeoxyglucose(¹⁸ F) Injection 放射性医薬品 ★陽電子放出核種であるフッ素18(¹⁸ F)を有するPET用の放射性診断薬である ★グルコースと同様にグルコーストランスポーターにより細胞に取り込まれ、リン酸化体として細胞内に滞留する その滞留した ¹⁸ F由来のポジトロンを核医学検査装置で追跡することにより、腫瘍細胞の診断、虚血性心疾患における心筋バイオビリティの診断、心サルコイドーシスの診断、てんかん焦点の診断及び大型血管炎の診断が可能となる 【発売:2005/08/01】
10			148MBq				
10			185MBq				
10	ライザケア 325	輸液	1000mL	-	1,177.0	ノバルティスファーマ	L-Lysine Hydrochloride/L-Arginine Hydrochloride アミノ酸輸液 ★ルタテラ投与後に、腎臓への被曝低減を目的として併用するアミノ酸輸液である 【発売:2021/09/29】
10	ルタテラ 429	注	7.4GBq	劇	2,647,734.0	ノバルティスファーマ	Lutetium(¹⁷⁷ Lu)oxodotreotide 放射性医薬品(β ⁻ 受容体放射性核種療法剤) ★ソマトスタチン受容体陽性の神経内分泌腫瘍(NET)の治療における国内初となるβ ⁻ 受容体放射性核種療法(PRRT)で使用する製剤である ★腫瘍細胞内に取り込まれ、 ¹⁷⁷ Luから放出されるβ ⁻ 線がDNA損傷を惹起し、細胞増殖抑制作用を発揮する 【発売:2021/09/29】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計7品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	アクラシン	注	20mg	劇 ハイリスク	ベネクレクスタ錠10mg採用の場合、削除
1	キンダリー	透析剤	4E	-	ドライ透析剤2.75S採用の場合、削除
1	ザルコニグ消毒液10	外用	500mL	-	ホライビ点滴静注用30mg採用の場合、削除
1	ジョイクル関節注	注	30mg	-	オスタバロ皮下注カートリッジ1.5mg採用の場合、削除
1	治療用アレルゲンエキスパ 注「トリイ」ハウスダスト1:10	皮下注	-	-	ジャカビ錠5mg採用の場合、削除
1	トランコロ	錠	7.5mg	-	ユリス錠1mg採用の場合、削除
1	ホンビバ静注シリンジ	注	1mg	劇	ナゾラ皮下注30mgシリンジ採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計10品目)

2023年4月5日に削除または移行予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	アックロピル「ファイザー」	錠	200mg	-	ケフレックスカプセル250mg採用のため、削除
1	アジビ皮下注シリンジ	皮下注	225mg	-	アジビ皮下注225mgオートインジェクター採用のため、削除
11	エフイ	錠	50mg	劇	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
1	コカイン塩酸塩「タケタ」原末	散	-	麻劇	レビマカプセル10mg採用のため、削除
8	ヒルトソフト軟膏0.3%(臨床研究用)	外用	25g/本	-	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
1	フルツロン	cap	200mg	劇 ハイリスク	ジラスタ皮下注3.6mgホテイホット採用のため、区分7へ移行
1	ペリソット	錠	250mg	-	イグザレルト錠2.5mg採用のため、削除
11	ミッドペリック250腹膜透析液	注	1500mL	-	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり

1	ユニフィルLA	錠	200mg	劇	テゼスバ [®] 皮下注210mgシリンジ採用のため、削除
1	レキップ [®] CR	錠	2mg	劇	ウィファート点滴静注400mg採用のため、区分7へ移行

【4】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計5品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	コンサータ 117	錠	18mg	劇向	344.1	ヤンセンファーマ	Methylphenidate Hydrochloride 中枢神経刺激剤(ADHD治療薬) ★ADHD治療薬として長年コンサータを使用してきたため、急に薬剤変更することで状態が不安定になるおそれがあるため ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2007/12/19】
11			27mg		381.2		
11	ヘリナトP静注用 634	注	500U	特生	101,325.0	CSLヘルシング	Lyophilized Human C1-inactivator Concentrate 血漿分画製剤(乾燥濃縮人C1-インアクチベーター製剤) ★侵襲を伴う処置による遺伝性血管性浮腫の急性発作の発症抑制に対して使用できる薬剤としては代替薬がないため 【発売:1990/09/03】
11	ソータイツ錠6mg 399	錠	6mg	劇	2,770.9	フリストル・マイヤース・スクイブ	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	レキユニール HCa 2.5 腹膜透析液 342	注	5000mL	-	1,988.0	バクスター	腹膜透析用剤 ★2.5%の濃度の透析液によって必要な除水が得られ、適正な体液管理が可能となる ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2014/02/14】

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)販売中止に伴う代替薬の採用について

販売中止薬	代替薬	
ゲムシタピン点滴静注液「ホスピーラ」	→ ゲムシタピン点滴静注液「NK」	2023年2月3日切替済
注射用マキシピーム1g	→ セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」	2023年1月19日切替済
コデインリン酸塩散1%「第一三共」	→ コデインリン酸塩散1%「メタル」	2023年2月9日切替済

3)供給停止に伴う代替薬の採用について

供給停止薬	代替薬(一時的)	
オキシプロカイン塩酸塩点眼液0.4% 「ニットー」5mL	→ ベノキシール点眼液0.4%5mL	2023年3月3日切替済

4)自主回収に伴う処方オーダー停止について

自主回収薬	代替薬(一時的)	
ジメチコン内用液2%「カイゲン」	→ ガスコンドロップ内用液2%	2023年2月9日切替済

5)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について

代替薬(一時的)	
院内処方: セレニカR顆粒40% 院外処方: 一般名処方	→ パルプロ酸Na徐放顆粒40%「フジナガ」 2023年2月9日切替済

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)